

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		子ども支援室 にここキッズ					公表日	2026年 3月 29日	
	チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		仕切りを設けるなど工夫			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		昼寝対応などテントを張るなど	昼寝が必要な児童に対してテントで仕切りが音が刺激になってしまう		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2		マットやパーティションなどで仕切って作る	マットやパーティションを今後も利用していく		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3		パートも参加できるように	共有できるシステムを考えていく、ラインで周知しても読み切れていない		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		今回が初めて保護者からの要望は随時伺っている	評価を生かしていく		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			ノートを利用しているが目を通せないこともある			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	3		第三者評価は行っていない。継続して風通しの良い事業所として見学等は受け入れていく		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	4			全員での研修は難しいリタリコの活用		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				HPにのせてある		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			士の職員も同じ視点でアセスメントできるとよい		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				職員には読んでもらっている支援に落とし込んでいけるようにする		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3			担当で分けているが全員では難しさがある時間を作ることが課題		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			ぶろぐらむさくせいと準備に大変さを感じる	担当を作るなどして負担の内容に配慮していく		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8						
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3			送迎や準備で難しいが時間をうまく使うことが課題		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3			帰りは子どもの様子等を話し合っている。 記録を取ることを定着
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	4			定着していくために記録する人を決めるなどする
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		6		保護者の依頼があったときに作成
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8				子ども連絡会に参加、笑顔と共有
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	2		社会福祉協議会とは連携をとれている
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8				地域の児童館やおもちゃ図書館を利用
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2			個々の相談が多い 職員のスキルをアップするため研修を入れていく
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			即座態目を通して
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8				
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		1		
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		3	組織作りがわからない	事業所と保護者関係機関との関係を明確にする
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	3			
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			雇用時に周知		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8				
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		1	研修報告等保護者にも開催したことを伝える	連絡帳を利用して周知、行った結果での問題点を共有していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8				掲示していく
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			8	アレルギーの子はいないが突然出ることがあるので対応できるようにする	アレルギーの子はいないが、利用時にはアレルギーについて記入していただき掲示して周知し、気をつけるようにしていく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		1		小さなけがなど忘れ物が時々あるのでその都度改善策を考えて実践していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				不適切な言葉など検証していく
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8				どこまでが身体拘束かなどの共通の見解を研修等で共有していく	